

卵巣癌(プラチナ耐性または3rd line以降)
ドキシル+アバスチン併用療法 患者プロトコール

投与プロトコール 1コース 28日間 PDまで 《開始時基準 PS:0~2 年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	5%ブドウ糖 500mL 生食 500mL	—	Day1 Day15	—	
プレメディ	デキサメタゾン + 5%ブドウ糖100mL デキサメタゾン + 生食100mL		Day1 Day15	30分	
①	ドキシル:40mg/m ² 5%ブドウ糖 250mL	mg	Day1	90分*	
ドキシル投与後にアバスチンを投与する場合は(Day1)、ルートキープ用5%ブドウ糖でフラッシュし、ルートキープを止めてからアバスチンを投与する。					
②	アバスチン:10mg/kg 生食 100mL	mg	Day1,15	使用上の注意参照	
<p>◆*ドキシルは、数回投与してinfusion reactionを認めない場合は、主治医の判断により投与速度を短縮可能とする。但し急速な投与によりinfusion reactionの発現リスクが高くなる恐れがあるため投与速度は1mg/分以下とする。</p> <p>◆アバスチンは、初回90分かけて滴下。問題がなければ2回目:60分、3回目以降:30分に時間短縮可能。</p>					

佐賀大学医学部附属病院